



若竹だより

274



【巻頭言】

子どもおもてなし処

—女性専用遍路小屋オープニングセレモニー—

園長 野田大燈

先月の 11 月 20 日日曜日、学園の子供たちが実質的に運営管理しています遍路小屋「五色台子どもおもてなし処」の女性専用遍路小屋が完成オープンしました。

遍路小屋での子ども達による「おもてなし」につきましては既にご報告してきておりますが、女性専用の無料宿泊小屋につきましては未報告でありました。

四国在住の方でしたら「四国霊場 88 カ所」につきましてはご存じの方が大半とは思いますが、若い方の大半はご存じないかと思えます。

遍路道は弘法大師空海と言う香川県善通寺出身の僧侶ですが、京都での就学の後に中国で修行して日本に帰り、和歌山の高野山に寺院を建立して「真言宗」と言う宗派を立ち上げられた稀代の僧侶です。

四国の 88 カ所遍路道は、その空海が修行として経廻った道であり、1200 年来、空海を慕う修行僧や信者の方が全長約 1400 ㎞の距離を約 45 日かけて徒歩遍路されます。

雨の日や暑い日・寒い日などがありますが、歩くことを修行としておられるのです。

特に最近では外人の遍路さんが増加してきています。

子どもおもてなし処は 82 番札所根香寺の手前 300m の所に位置しており、丁度 81 番札所白峰寺と 82 番根香寺、そして 83 番一之宮寺の三叉路にあります。

その意味では徒歩遍路さんは必ず通られる要所に遍路小屋があり、多くの遍路さんの休憩と宿泊の場所となっています。

遍路小屋は約 3 年前に開設されていましたが一棟だけでしたので「女性専用の小屋を設けて欲しい」と言う要望がありました。

しかし、建物を建設するには経費がかかりますので、必要とは思いつつも躊躇しておりましたら、遍路小屋近くの空き家となっている持ち主さんが「遍路小屋として利用されるなら寄付します」との申し出がありました。

そこで従来の遍路小屋は休憩と男性の宿泊に使用居て頂き、ご寄付頂きました建物を女性専用として改造することとなりました。

「女性専用なら女性が中心になって改築に携わって頂けるとうれしいな」と思っていましたら、地元の工芸高校デザイン科の女子生徒さんと、香川大学工学部の生徒さんが参画してくれることとなりました。

それでは若竹学園も女性園生を中心に、と云う事でお手伝いをしました。

こうして女性の為の遍路小屋は女性が中心となって完成したのです。

新聞やテレビで「四国初の女性無量遍路小屋」として照り上げてくれました。

今後の管理とおもてなし（お接待）は若竹学園の子供たちが行っていきます。

おもてなし、を通して外人さんや多く遍路さんに接して、人見知りしない積極的な人間に成長してくれますことを願っています。

ウォークラリー 学園→屋島寺

晴天に恵まれた 11 月 18 日金曜日、ウォークラリーを行いました。今年度は学園を出発、サンポート高松を経由して屋島寺まで約 24km を歩きました。

午前 9 時から班に分かれて出発し、いくつかのチェックポイントを経由しながら、昼食を食べるサンポート高松を目指しました。

チェックポイントでは、数か月前に来て下さっていた実習生さんが準備して下さっていたク



イズを解きました。子ども達が好きそうなアニメの問題から、勉強に関する問題、学園に掲示してある職員紹介の中からの問題など、バラエティーに富んだクイズを準備して下さっており、班員で相談しながらみんなで答えていました。

途中で追い抜き追い越されることもありましたが、12 時半頃には全員サンポートに到着し、美味しい昼食を食べ、クイズで得た賞金を使ったセリを楽しみました。

午後、少し休憩をした後、サンポート高松を出発しました。車道横の歩道を歩いて、ゴール地点である屋島寺を目指します。

平坦な道をひたすらコツコツ歩きましたが、最後の屋島寺までは山道でした。非常に急な山道で、



登り始めると途中でリタイヤすることも出来ない為、途中で何度も何度も休憩しました。出会う方々に挨拶していると、「どこから来たの？あともう少しだよ、頑張って！」と励まして頂きながら登り、無事に完歩する事が出来ました。

残念ながら山に登る時間の関係で山の手前でゴールになった子もいましたが、時間一杯一生懸命歩く姿も



立派でした。また、当日歩くことが出来なかった子たちも、チェックポイントに立って人数を確認したりクイズをしたりとお手伝いをしてくれました。

屋島の山頂で瓦投げをした後、夕食でバイキングを楽しみ、温泉に入って学園に帰ってきました。

ものスゴク辛くて足が痛かったです。とくに最後の山のぼりが一番きつかったです。

ぼくは、さんねんながら、足をケガしたので、さんかはできませんでしたが、大人のとつだいができて、とてもたのしかったです。

これが、「よろこんであたえる人間となろう」なんだな～と思いました。

やきにくがおいしかったです。

12 月若竹学級だより

炊飯実習

小学生がお鍋でお米を炊きました。お米を量ったり、洗ったりするのは経験したことのある子もいてスムーズにできました。しかし、お鍋でお米を炊くのはどの子も初めてで、興味をもってガラスのお鍋の中でのお米の変化を観察していました。「踊っているみたい」「ぐちゃぐちゃ」「落ち着いた」「ぼこぼこ」等、自然に言葉が出てきていました。それは実際にすぐ目の前で見たからこその言葉でした。こげることもなく、ふっくらと炊けたご飯を子どもたちは自分でおにぎりにしておいしそうに味わって食べていました。

お遍路さんをお花で迎えよう

小学生が新しくできた女性専用の遍路小屋の入口付近に花壇を作り、パンジーの苗を植えました。自分だけの花壇を丁寧に作った子、苗の周りに小石を並べ花梨を添えて飾った子等、それぞれに自分のアイデアを表現する姿に感心しました。小屋に立ち寄ったお遍路さんに「いいことをしているね」と誉めてもらい、人に喜んでもらうことで自分たちがしていることの意義を見出したことでしょう。これからもお遍路さんのためにできることを考えていきます。



←女性専用の遍路小屋

↓手作りの花壇



みかん狩り

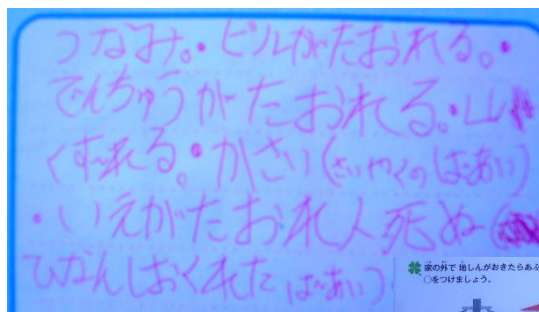
中学 3 年生が、就労体験としてみかん狩りをしました。山の斜面に広がる畑でみかんを収穫するのは大変でしたが、体を動かして作業するのは気分がよく、生徒たちは楽しそうに作業に励んでいました。畑の持ち主の方からも

「よくがんばっていた」と誉めていただき、働く喜びを実感できました。



防災について学ぶ

小学生は、もし地震が起きたら町や家の中、家の周りはどうなるかイラストを見て考えました。最近、実際に大きな揺れを感じたこともあり、子どもたちなりに真剣に考えられていました。どこにいても危険がいっぱいだというのを改めて知りました。その恐ろしさを忘れず、気持ちも面でも日頃から備えをしておいてほしいものです。



↑海辺の町に地震がきたら…

危険な所に印をつけると→



2 学期のまとめテスト

11 月 29・30 日、12 月 1 日、中学校は期末テスト、小学校でもまとめのテストを行います。2 学期がんばってきた成果をテストでも発揮してほしいものです。中 3 生は、進路決定の時期にきています。様々な状況を照らし合わせながら、それぞれが納得のいく進路を切り拓いていけるように、みんなで中 3 生を応援していきます。

女性専用無料 へんろ小屋完成

先日から改修していた女性専用無料へんろ小屋が無事に完成し、11月20日落成式を行いました。

落成式では、準備の手伝い、受付、篠笛演奏に加わせて頂いてのリコーダー演奏、決意表明をさせて頂き、それぞれ立派にやり遂げました。

決意表明

今回は、皆様のご協力を経て、女性専用通路小屋が完成しました。ありがとうございます。

私たちは、この通路小屋の完成に向けて、お接待や通路小屋の清掃などの活動に取り組んできました。その活動を通して、お遍路さんが一生懸命取り組む姿勢や、女性専用通路小屋のありがたみを学ぶことができました。女性専用通路小屋は、女性のお遍路さんが休憩や宿泊を安心して出来る居心地の良い場所になると思います。これは、四国初の試みになるので、もっとたくさんの人に知ってもらって、広めていきたいです。そのためにも、お接待などを通して、女性専用通路小屋の良さを伝えていく必要があります。

これからも、女性専用通路小屋をより良い場所にしていくために、お接待や清掃活動に取り組んでいきます。

代表 中学3年生 女子

11月行事

- 9日 買物学習
- 12日 太鼓練習
- 18日 ウォークラリー
- 20日 女性専用無料へんろ小屋落成式
- 26日 香川県防災センター見学
- 27日 食育 おはぎ作り

在籍人数 平成 28 年 11 月 25 日 現在

区 分		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
男 子	小学生	3	2	5
	中学生	8	5	13
	その他	0	0	0
	計	11	7	18
女 子	小学生	2	0	2
	中学生	5	2	7
	その他	0	0	0
	計	7	2	9
合計		18	9	27

編集後記

本格的に寒くなりましたが、子ども達は毎日元気にケイドロをして遊んでいます。今年は雪が降るのか楽しみです。児童指導員 吉田 加世

第 274 発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp/>

Eメール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 野田 大燈

~御寄附ありがとうございました~

イオン高松店様 黄色い幸せのシートキャンペーン

13800円寄付 (スポーツ用品一式、楽譜購入)

石原 真生様

お菓子沢山

久保田 麺業

うどん沢山